

クライアント仮想化とワークスタイル変革との関係性

■資料概要

クライアント仮想化歴 15 年のエバンジェリスト、斎藤が書き下ろしたホワイトペーパーです。
なぜ今これほどに「ワークスタイル変革」「テレワークへの移行」の必要性が叫ばれているのか、その必要性を切迫したものとして捉えて頂きたく、データから見る考察結果をまとめました。

【資料冒頭部分】

以前にも増して、最近「ワークスタイル変革」という言葉をよく耳にします。しかし、昨今のワークスタイル変革に対する喧伝のされ方は、「タブレット端末を活用した新しい働き方を！」「コラボレーションの強化により生産性の追求を！」「ワーク・ライフ・バランスの導入でプライベートの充実を！」等と少し浮ついた印象すら覚える触れ込みが多いように感じます。しかしながら、その一方で、今こそワークスタイル変革について真剣に考えるべき時期だと考えます。これは、極めて重要な社会問題を背景にしており、特に日本においての有用性・必然性について、十分に理解した上で議論を進める必要があると考えるからです。そもそも「ワークスタイル変革」とは・・・

■目次

1. ワークスタイル変革の考え方は 10 年前から始まっていた
2. 労働力人口の減少と低い女性の就業率、日本の課題解決に待ったなし
3. クライアント仮想化とワークスタイル変革との関係性
4. ワークスタイル変革の効果をイメージしましょう
 - －産休／育休期間の短縮
 - －介護問題の解決
 - －出勤困難者の労働力の活用
 - －サテライト・オフィスにより柔軟な勤務体系
 - －災害発生・パンデミック時の BCP 対策
 - －タブレット端末等の新しいデバイスの活用による業務効率の向上
5. Ericom AccessNow で実現するデバイス・フリー、ロケーション・フリー

資料をダウンロード 

